

愛知ものづくり史

④ 布を織る技

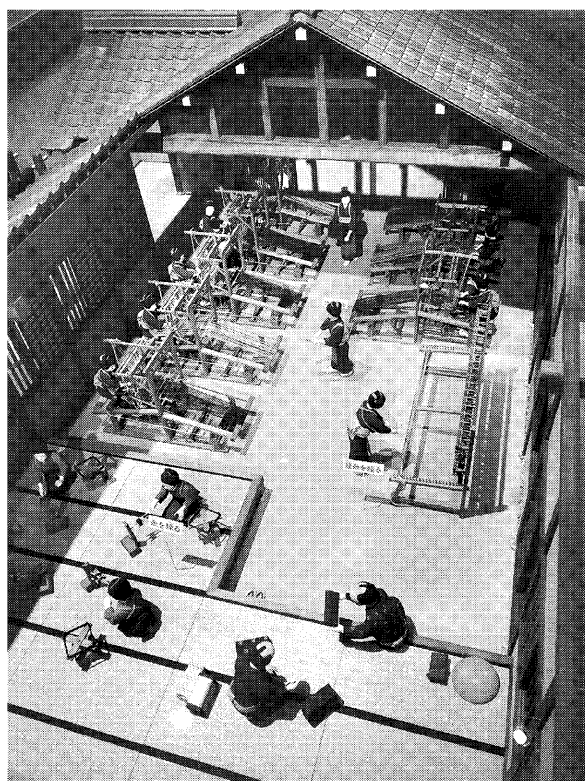
愛知の織物業の起源は奈良期の綿織物であり、またさかのぼれるが、産業として見れば、その後の綿織物を始めとするのが妥当であろう。わが国の風土に合った綿の需要が高まり、室町後期、全国に先駆けて三河で綿織物業が興る。江戸期になるとこれが尾西や知多にも広まり、三河木綿、尾張綿、知多晒といった製品が大消費地・江戸などに向けて出荷されていった。各地とも農家の副業として始まった分野であったが、幕末期には、工場制手工業の形態(綿耕作一糸紡ぎ一機織り)も出現、これが後の愛知の織物業発展の素地となる。

明治期になると、従来の手織機(高機)を改良した高効率機(パッタシ)の導入や工場の規模拡大が県内各地に進み、綿織物の生産量は急速に増加する。これに、製品競争力の高い綿織物が尾西で始まったことなどが加わり、明治中期頃、愛知は国内有数の綿織物生産地として名を馳せるまでになった。

⑤ 食材を加工する技

温暖多湿な気候のもたが、幕末期には、工場制手工業の形態(綿耕作一糸紡ぎ一機織り)も出現、これが後の愛知の織物業発展の素地となる。

明治期になると、従来の手織機(高機)を改良した高効率機(パッタシ)の導入や工場の規模拡大が県内各地に進み、綿織物の生産量は急速に増加する。これに、製品競争力の高い綿織物が尾西で始まったことなどが加わり、明治中期頃、愛知は国内有数の綿織物生産地として名を馳せるまでになった。



「尾張名所図会」をもとに江戸期の尾西の織屋を再現(一宮市博物館所蔵)

⑥ からくりとすり合わせの技

これまでの素材加工に関する技とは視点を異なるが、機械工学に関する技(からくりとすり合わせ)の系譜も外せない。

織物業のことが、朝鮮より徳川家康に献上された置き時計が破損した際、京都の鍛冶職・津田助左衛門はその修理だけでなく、レプリカ製作(国産時計の初見)も手がけたと伝わる。ここからわが国における、からくりとすり合わせの技の蓄積が本格化した(当時、アジア諸国のうち、鉄砲や時計を独力で国産化したのは日本だけだった)。

その後、大正洋戦で活動休止を余儀なくされた愛知の布を織る技は、戦後、ガチャマン景気などを追い風に息を吹き返す。昭和40年代になると、オイルショックなどの影響でかつての栄華こそ失ったが、その一方で化学繊維を多用した、産業資材(自動車の内装品など)という新分野の取り込みが成功した。他の技と同様、布を織る技の進化もやむことはいない。

その後、大正洋戦で活動休止を余儀なくされた愛知の布を織る技は、戦後、ガチャマン景気などを追い風に息を吹き返す。昭和40年代になると、オイルショックなどの影響でかつての栄華こそ失ったが、その一方で化学繊維を多用した、産業資材(自動車の内装品など)という新分野の取り込みが成功した。他の技と同様、布を織る技の進化もやむことはいない。



江戸後期の半田の酒がすつくりを再現(写真提供: ミツカンミュージアム)

後、南北朝期には岡崎で豆みすつくりが、織豊期になると宝飯郡でたまりしょうゆつくりが始まった。

江戸期には、第一尾張藩主・徳川光友の奨励もあって、知多半島や西三河沿岸部を中心に酒つくり(尾張酒、三河酒)が発展し、飲酒習慣の広まった大消費地・江戸に海路で送られた。江戸と大坂の中間地につくられたことから中国酒とも呼ばれ、江戸後期になると、品質の向上と相まって上方の酒に次ぐ全国第位の酒造量誇るまでになる。

また、これと同様に、大消費地・江戸のニーズを讀んだ知多や

すり合わせの技は時の起業者たちのアイデアのもと、木材、金属加工の技とも欧米の先端技術と融合する。その結果、愛知にも近代的な機械産業が興り、明治中期には、西洋時計、機械、鉄道車両などが、明治後期から昭和初期にかけては、自転車、工作機械、エンジン、航空機、自動車などが続々と生み出されていった(これらの多くは品質に磨きをかけ、後に世界的なブランドへと成長している)。

そして今日、県内在住メーカーの間で、からくり人形から発想を得た搬送設備などの導入が盛んと聞かれ、助左衛門が興した技は400年を経過した今も陳腐化することなく、愛知のものづくりの現場に生き続けている。



からくりとすり合わせの技を木材で体現「玉屋庄兵衛(九代)作の茶運び人形」(写真提供: 犬山祭保存会)

あらゆる産業を支える高機能表面処理のプロフェッショナル。

<http://www.sannouriken.co.jp>

Ni-P・PTFE共析めっき
硬質クロムめっき

山旺理研株式会社

本社・工場 〒452-0812 名古屋市西区玉池町5番地
TEL.052-502-1151 (代表) FAX.052-502-4306
現場事務所 名古屋市西区玉池町16番地
TEL.052-502-1153・1154 FAX.052-502-1193

熱風循環式乾燥装置

●形式(内寸法) / ST・SL・SE各シリーズ
●熱源 / 電気ヒーター・ガス(LPG)・蒸気等
●温度 / 常温~100℃maxより600℃max迄各タイプ
●指定特殊寸法及びコンベア乾燥装置設計製作致します。

加熱乾燥・熱処理装置の総合メーカー

SHINHO 新豊科学器械株式会社

〒491-0801 愛知県一宮市千秋町加茂字北石田87番地の2
TEL(0586)77-5441代 FAX(0586)77-2139

<http://www.shinhokagaku.co.jp/>

手軽で貼りやすい 粘着剤付きシート **生ゴムがくっつかないシート**

特許出願中

GITフアブリックシートの特長

- シリコンコーティングを上回る非粘着(離型)性
- 高温でも衰えない非粘着(離型)性
- すぐれた耐熱性・耐久性
- 安定した摩擦性能
- カット加工しやすいシート材
- シール感覚で貼れる粘着シート

主な用途
粘着テープ製造ライン/コールドクーラー・ホットメルト・各種接着剤、使用ライン/未加硫ゴム、生ゴム搬送ライン/ラベル・シール類等、製造メーカー/包装ライン/食品類、搬送加工・焼成ライン

株式会社 **吉田SKT**

本社/名古屋市西区花の木一丁目12番20号 TEL(052)524-5211 FAX(052)524-5287
事業所/東京・名古屋・山口 営業所/横浜・大阪・福山・広島 [各地事業所、営業所にて迅速に対応させていただきます]

<http://www.y-skt.co.jp>

あらゆるニーズにお応えできる 手作りのフレキメーカー!

多品種・別作・短納期

100%受注生産

最新情報
最新カタログのご用命の際は、弊社ホームページをご覧になり、「お問い合わせ」ページより資料請求してください。

CGK 中日技研工業株式会社

〒462-0064 名古屋市北区大我麻町226番地
TEL(052)902-0505 FAX(052)902-0546
URL:<http://www.cgk-flex.co.jp>

あたらしい空気を創る

GPが生み出す次代のエコロジーエアーは、「水」を基にしています。これから先の地球のために、そしてもちろん人のために…。

“GP SERIES”は、未来のための環境性能を装備した、水潤滑式スクリュコンプレッサです。

大気水分利用システム 水潤滑式コンプレッサ GP SERIES II

技術と信頼で未来を拓く

DAIWA 大和機工株式会社 [本社工場] 〒474-0071 愛知県大府市梶田町1丁目171番地 産業機械部/TEL0562-47-2168 FAX0562-46-8966

代表取締役社長 坂井 修

<http://www.daiwakiko.co.jp>

f=maと人間 ニュートンの第2法則

『考える』力持ちには敵わない。

合板製造機械の専門メーカー

meinan

(株)名南製作所/〒474-8543 大府市梶田町3-130
TEL:(0562)47-2211代 FAX:(0562)46-5399
<http://www.meinan.co.jp>